

## 8-3-5 社会資本整備のあり方検討WG

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回

(企画委員会と同一日に開催)

#### (2) 委員会の活動経緯

平成17年度に企画委員会内に設置された「社会資本整備のあり方検討WG」は、当初、企画委員会委員の在京メンバーによって活動に着手し、建設コンサルタンツ協会ホームページのうちの「建設コンサルタントという仕事」のページのリニューアル版の制作等を担当した。

その後、平成18年5月より協会の正式な専門委員会として発足した。企画委員会委員全員をメンバーとし、これに建設コンサルタンツ協会インフラストラクチャー研究所研究員を加えて活動を実施してきている。

#### (3) 委員会の活動内容

当専門委員会は、中期行動計画の施策「1-3 建設コンサルタントの役割の提案」「1-6 社会資本整備のあり方の提言」「2-6 社会ニーズの掘り起こしと技術開発」を担当し、専門家集団としての役割の発揮と社会貢献を果たすため、これからの社会資本整備のあり方の中での建設コンサルタントの役割について情報発信、問題提起等を行うことをミッションとしている。

##### 【小中学生向けHPのコンテンツ確認】

小中学校向けの社会資本整備に関するメッセージの発信を目的とし平成22年度に開設したHP「もしもランドのわく×2 まちづくり」についてコンテンツ更新の必要性を確認した。

##### 【小学生向け体験レポートコンテスト】

小学生を対象に、実際に社会資本を観察・見学してもらい、体験レポートを応募してもらう企画を例年どおり実施した。コンテストの概要

は次の通りであるが、本部の広報活動や支部活動との連携を図り、昨年度ではないが過年度の20～30編程度よりも募集数が増加している。

・参加資格：小学生（個人またはグループ）

・テーマ：社会資本を見学して感じたこと

(題名自由)

・応募期間：6月～9月

・審査員：企画委員会委員

・応募数：48編

・審査結果：優秀賞8編、特別賞1編、

参加賞39編

#### 【「建設コンサルタントの役割の提案」活動検討】

本WGのミッションである、これからの社会資本整備のあり方、その中での建設コンサルタントの役割の提案というテーマに関して、中期計画（5年間）に基づく活動を進めている。

今年度については、過年度成果の「建設コンサルタントによるマネジメントが必要な場面の見える化（自治体の政策立案～推進の体系）」を踏まえ、政策提案型業務の提案に係る配慮事項、具体的な検証を行う業務分野の抽出（包括的維持管理業務）、包括的管理業務に係る建コンの参入イメージの整理等の検討を行った。

今後も、包括的管理業務を中心に、建設コンサルタントの役割の提案に関する議論を深めるとともに、建設コンサルタント協会各委員会、協会企業等に対して情報発信や問題提起、提案等を行っていく方向で活動を継続していく。

### 2. 次年度の活動について

「もしもランド」の更新の必要性や活用方策の検討、「小学生向け体験レポートコンテスト」の実施、「建設コンサルタントの役割の提案の検討活動」等を引き続き行っていく予定である。

(社会資本整備のあり方検討WG

WG長 倉田 糧造)